

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第19週の発生動向

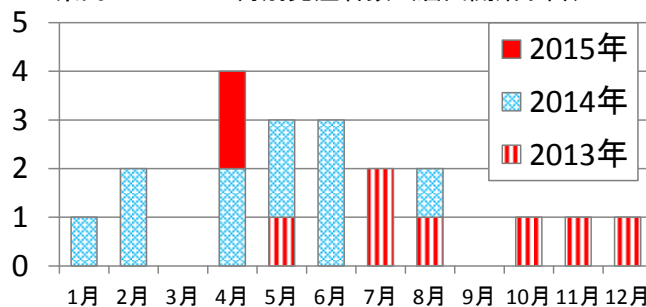
### トピックス

・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（全数報告の感染症）の報告が宮崎市保健所から1例あった。県内での報告は今年2例目、累計21例目となった。患者は60歳代男性で、4月下旬に発症し、5月上旬に死亡した。ダニの刺し口があり、海外渡航歴はなかった。

県内のSFTS 年齢別報告数

～40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代～
1	2	5	5	7	1

県内のSFTS月別発症者数（届出開始以降）



### 全数報告の感染症（19週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。  
4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：急性脳炎1例、破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	90歳代	女	無症状病原体保有者	—
		延岡	70歳代	男	疑似症患者	嘔声
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、神経症状、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、出血傾向、紫斑、消化管出血、刺し口
5類	急性脳炎	宮崎市	0～4歳	女	病原体不明	発熱、痙攣、意識障害、運動障害
	破傷風	宮崎市	80歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、強直性痙攣、呼吸困難（痙攣性）、易興奮性、反弓緊張、自律神経障害

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は575人（定点当たり15.2）で、前週比58%と減少した（祝日含む）。前週に比べ、いずれの疾患も減少した。（前週との比較のグラフ 次頁）

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

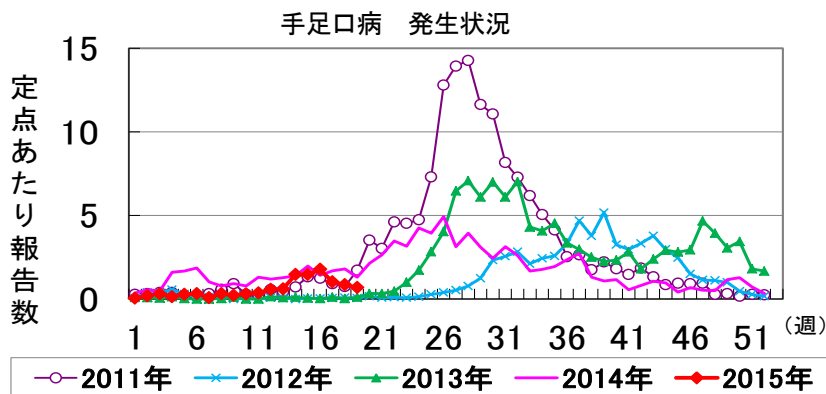
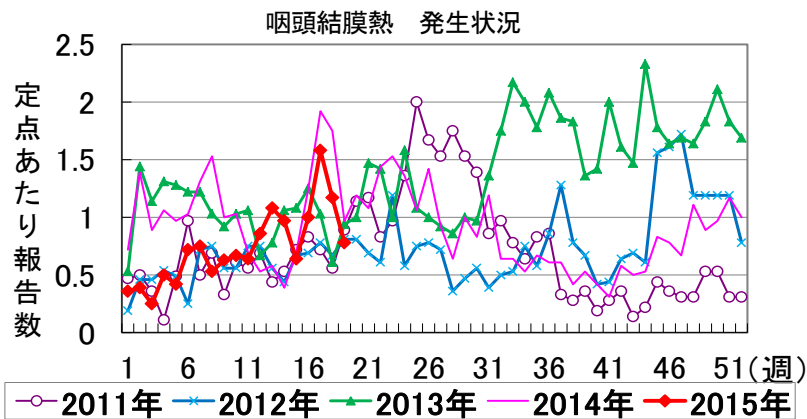
##### 【咽頭結膜熱】

・報告数は28人（0.78）で、前週比67%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*（0.87）の約0.9倍であった。中央（3.0）保健所からの報告が多く、年齢別では2～4歳が全体の約6割を占めた。

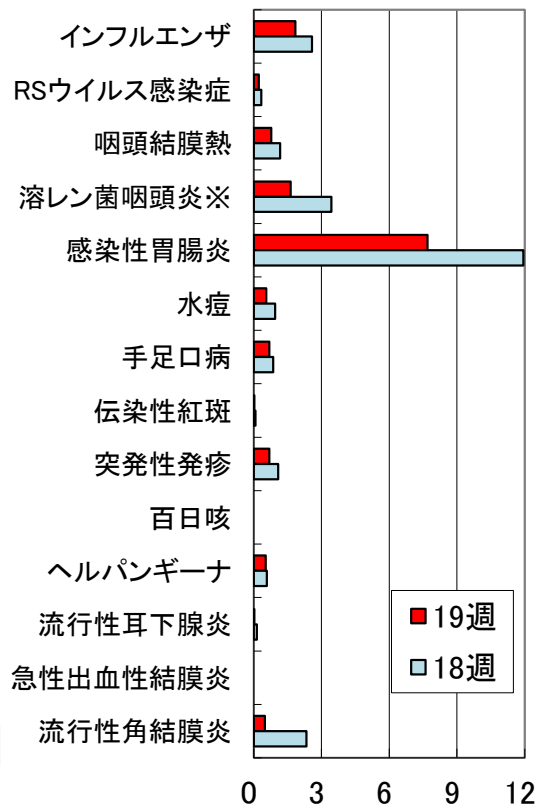
##### 【手足口病】

・報告数は25人（0.69）で、前週比81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*（1.3）の約0.5倍であった。年齢別では2歳が全体の約4割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値



《前週との比較》



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市、都城、延岡、日南、小林、高鍋、高千穂、日向	なし
中央	咽頭結膜熱(3.0)

定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

※流行警報レベル開始基準値※  
・咽頭結膜熱(3.0)

📌 全国第18週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第18週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	318例				
3類感染症	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	14例	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	5例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	2例	デング熱	3例	日本紅斑熱	1例
	ライム病	1例	レジオネラ症	19例		
5類感染症	アメーバ赤痢	14例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
	後天性免疫不全症候群	8例	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	41例	水痘(入院例)	4例	梅毒	17例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例
	風しん	3例	麻しん	3例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比95%とやや減少した。今週増加した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

咽頭結膜熱の報告数は1,734人(0.57)で、前週比119%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.36)の約1.6倍であった。石川県(1.7)、新潟県(1.6)からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約6割を占めた。

## 宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第19週(5月4日～5月10日)

疾病名		第18週	第19週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	152	109	16	27	12	1	34	7	1	9	2
	定点あたり	2.58	1.85	1.00	2.70	1.71	0.20	6.80	1.17	0.50	1.50	1.00
RSウイルス 感染症	報告数	12	8			2					6	
	定点あたり	0.33	0.22	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	42	28		5	5	6		1		8	3
	定点あたり	1.17	0.78	0.00	0.83	1.25	2.00	0.00	0.25	0.00	2.00	3.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	124	59	13	7	11	9	2			17	
	定点あたり	3.44	1.64	1.30	1.17	2.75	3.00	0.67	0.00	0.00	4.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	430	277	82	47	18	22	33	27	13	20	15
	定点あたり	11.94	7.69	8.20	7.83	4.50	7.33	11.00	6.75	13.00	5.00	15.00
水痘	報告数	34	20	1	5	4	3	2	2		1	2
	定点あたり	0.94	0.56	0.10	0.83	1.00	1.00	0.67	0.50	0.00	0.25	2.00
手足口病	報告数	31	25	12	1			2	9		1	
	定点あたり	0.86	0.69	1.20	0.17	0.00	0.00	0.67	2.25	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	3	1	1								
	定点あたり	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	39	25	4	2	5	4	2	3	2	1	2
	定点あたり	1.08	0.69	0.40	0.33	1.25	1.33	0.67	0.75	2.00	0.25	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	21	19	6	5	8						
	定点あたり	0.58	0.53	0.60	0.83	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	1	1								
	定点あたり	0.14	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	3	2	1							
	定点あたり	2.33	0.50	0.67	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	4										
	定点あたり	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～19週)

2類感染症	結核	77例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例				
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	2例(1)	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	1例	マラリア	1例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	3例	急性脳炎	2例(1)	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	水痘(入院例)	1例	梅毒	1例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	2例(1)		

( )内は今週届出分、再掲

## 月報告対象疾患の発生動向 <2015年4月>

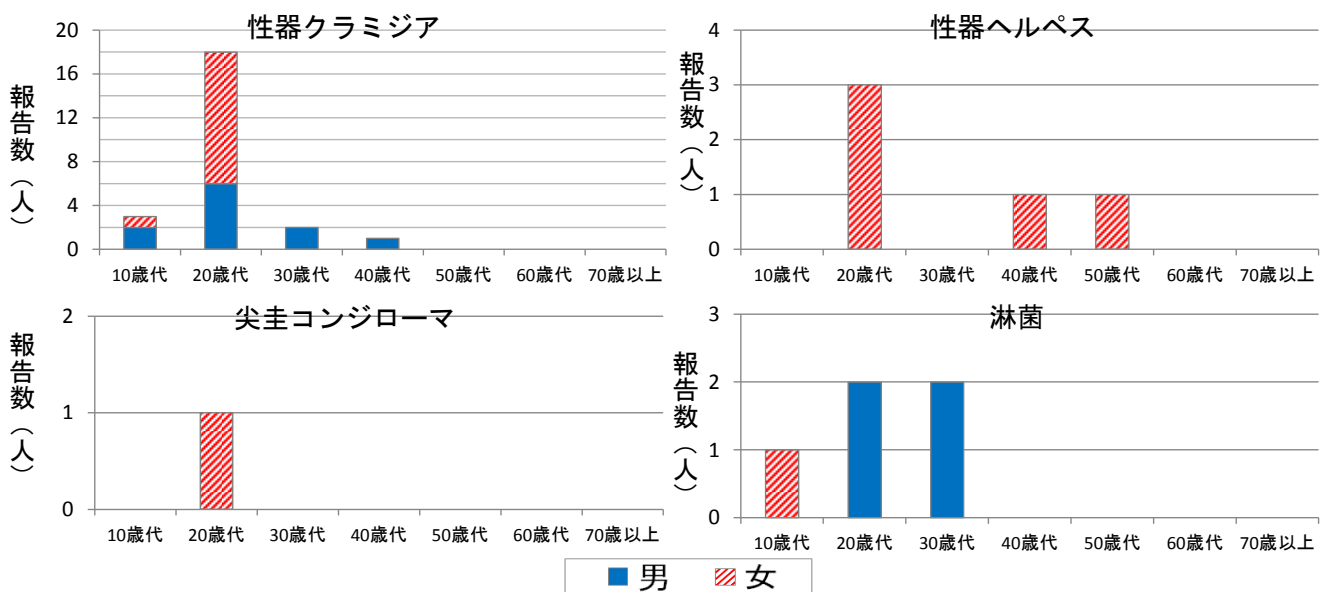
### 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月109%と増加した。また、昨年4月(2.9)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数24人(1.9)で、前月の約1.1倍、昨年4月と同じであった。年齢別では20歳代が全体の約8割を占めた。  
(男性11人・女性13人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月及び昨年4月の約1.7倍であった。年齢別では20歳代が全体の約6割を占めた。(女性5人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月及び昨年4月の約0.3倍であった。  
(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約1.3倍、昨年4月の約0.6倍であった。  
(男性4人・女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：978

定点医療機関からの報告総数は3,693人(3.8)で、前月比92%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,892人(1.9)で前月比96%、性器ヘルペスウイルス感染症724人(0.74)で前月比88%、尖圭コンジローマ458人(0.47)で前月比92%、淋菌感染症619人(0.63)で前月比86%であった。

### 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で前月比94%と減少した。また昨年4月(2.6)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月及び昨年4月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約9割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：472

定点医療機関からの報告総数は1,497人(3.2)で、前月比93%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,308人(2.8)で前月比91%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症169人(0.36)で前月比113%、薬剤耐性緑膿菌感染症20人(0.04)で前月比100%であった。